消防年報

２０２６

上　尾　市　消　防　本　部



AGEO FIRE DEPARTMENT

令和8年度刊行

はしがき

市民・町民の皆様には、消防業務に対し深い御理解と御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

近年の社会経済の著しい進展に伴い各種災害は複雑多様化され、人命危険と社会不安が増大し、防災上新たな課題となっております。

我々消防機関は、市民・町民の皆様が安全で安心な暮らしができるよう、より一層消防力の充実と技術の向上を図り、各種災害に対処していく所存です。

この年報は、令和７年度における上尾市・伊奈町の消防現勢と諸般の資料を収録したもので、今後の消防行政の参考に資するとともに、消防業務の実情を広く紹介することを目的に編集いたしました。

内容につきましては、施設及び人員に関しては令和８年４月１日現在で、その他は原則として会計年度で収録してありますが、火災、救急等については暦年で作成してあります。

この年報により、消防業務についてなお一層の認識を深められ、防火、防災体制の確立を図り、住み良い上尾市・伊奈町を築くため、特段の御協力をお願いいたします。

令和８年９月

上　尾　市　消　防　本　部

【上尾市】

市　章



上尾の「ア」の頭文字を鋭く描いて、

進展の象徴とし円形は円満・団結を

表現したものです。

昭和 41 年 7 月 1 日制定

【伊奈町】

町　章



「いナ」を花弁に図案化、住民が団結し

手をとりあって輪をつくり、花のような

美しい地域をつくるという意味です。

昭和 45 年 11 月 1 日制定

アッピー

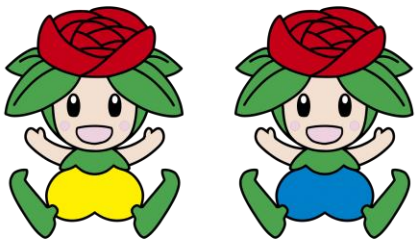


あげおの「ア」、上尾の向上を意味する

「アップ」、さらに幸せの「ハッピー」を合わせた

「アッピー」です。

伊奈ローズちゃん・伊奈ローズくん



伊奈町制施行記念公園の

バラ園で誕生した

双子のバラの妖精です。

目　　次

上尾消防のあゆみ・・・・・・・・・・　１

現　　勢

概　要

上尾市と伊奈町の概要と位置・・・・・　１１
消防予算・・・・・・・・・・・・・・　１２
消防関係要覧・・・・・・・・・・・・　１３
消防機構図・・・・・・・・・・・・・　１４
事務分掌・・・・・・・・・・・・・・　１５

消防力

庁舎施設概要・・・・・・・・・・・・　１８
現有車両配備状況・・・・・・・・・・　２０
消防用資機材保有状況・・・・・・・・　２２
緊急消防援助隊・・・・・・・・・・・　２４
大規模災害対策資機材整備事業・・・・　２５
消防力の整備指針・・・・・・・・・・　２６
年齢及び階級吏員数・・・・・・・・・　２７
教育・訓練実施状況・・・・・・・・・　２８
消防水利・・・・・・・・・・・・・・　２９
消防音楽隊・・・・・・・・・・・・・　３０
防災体験コーナー・・・・・・・・・・　３１

統　　計

予　防

防火対象物数及び立入検査件数・・・・　３２
防火防災訓練指導件数・・・・・・・・　３３
消防同意件数の推移・・・・・・・・・　３３
消防法令に基づく各種届出件数・・・・　３４
火災予防条例関係届出件数・・・・・・　３４
危険物施設数・・・・・・・・・・・・　３５
危険物施設数の推移・・・・・・・・・　３７
危険物施設に係る申請等の件数・・・・　３８

火　災

火災発生状況・・・・・・・・・・・・　４０
主な火災原因・・・・・・・・・・・・　４５
原因・火元用途別火災発生状況・・・・　４６

救　急

年別救急出動・搬送件数・・・・・・・　４８
曜日別・月別救急出動件数・・・・・・　４９
年齢区分別等搬送人員・・・・・・・・　５１
埼玉県ドクターヘリ・・・・・・・・・　５３
ドクターカー・・・・・・・・・・・・　５４
救命講習実施状況・・・・・・・・・・　５４

救　助

救助活動状況・・・・・・・・・・・・　５５

通信指令

１１９番受信状況・緊急通報システム・　５６
災害状況テレフォンガイド・・・・・・　５６
気象状況・・・・・・・・・・・・・・　５７

消 防 団

消防団

消防団のあゆみ・・・・・・・・・・・　５８
消防団概要・・・・・・・・・・・・・　６０
消防団施設概要・・・・・・・・・・・　６１
消防団員定数及び実員・・・・・・・・　６２
消防団員階級別勤続年数・・・・・・・　６２
消防団人員及び車両配置表・・・・・・　６３
職業構成及び就業形態・・・・・・・・　６３



上 尾 消 防 の あ ゆ み

昭和３０年	１月	１日	上尾町、平方町、原市町、大石村、上平村、大谷村の３町３村を合併し、上尾町連合消防団として発足、連合消防団長に八木信一氏が就任、４８分団に区分し、常備消防団員２名、消防団員８７３名、水槽付消防ポンプ自動車１台、消防ポンプ自動車５台、三輪車２台、可搬式動力ポンプ３８台、腕用ポンプ２台をもって業務を開始する。
昭和３３年	４月	１日	消防機構改革を行い、名称を上尾町消防団に改め８分団に縮小、常備消防団員４名、消防団員１６３名、消防ポンプ自動車７台、可搬式動力ポンプ１台とし、初代消防団長に下里金太郎氏が就任する。
	７月１５日		市制施行に伴い、名称を上尾市消防団に改める。
昭和４０年	４月	１日	上尾市大字上尾宿２６３番地に消防本部並びに消防署を開設し、水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ）１台を配備し、職員１８名をもって発足する。
		１日	初代消防長に桜井安太郎が就任する。
	６月	１日	消防職員４名を採用、２２名となる。
	７月１５日		上尾市上町二丁目１４番１９号に新庁舎完成（鉄筋コンクリート造２階一部３階建、敷地面積 1204.50 ㎡、建築面積 373.786 ㎡、延面積 704.679 ㎡）により移転、業務を開始する。
	９月	１日	消防職員２名を採用、２４名となる。
	１２月	１日	消防職員３名を採用、２７名となる。
		２日	消防署に化学消防ポンプ自動車（いすゞ）を配備する。
昭和４１年	４月	１日	消防職員８名を採用、３５名となる。
	１０月	１日	消防署に東消型救急車（トヨタ）を配備し、救急業務を開始する。
	１２月１５日		消防職員１名を採用、３６名となる。
昭和４２年	４月	１日	消防職員３名を採用、３９名となる。
		１８日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（ニッサン・ジュニア）の寄贈を受ける。（火災保険号）
	９月	１日	消防本部に指令車を配備する。
昭和４３年	６月	１日	消防職員１名を採用、４０名となる。
昭和４４年	１月	１日	消防職員１名を採用、４１名となる。
	５月１６日		消防署に防災車５２１型貨物自動車（ダットサン）を配備する。
		１５日	埼玉県石油商業組合上尾支部（上尾班）より予防車（トヨペット・コロナ）の寄贈を受け、消防本部予防係に配備する。
	１２月１７日		消防署に水槽付消防ポンプ自動車（ニッサン）を配備する。
昭和４５年	２月	２日	消防長桜井安太郎氏市防災課長に転出し、後任消防長に天野正三（第２代）が就任する。
	４月	１日	消防職員２名を採用、４３名となる。

昭和４５年１２月１７日　消防署に１８m級はしご付消防自動車（ニッサンディーゼル）を配備する。
昭和４６年　５月　１日　消防職員３名を採用、４６名となる。
１２月　１日　消防職員３名を採用、４９名となる。
昭和４７年　３月３１日　通信指令室に消防通信指令装置を設置する。
４月　１日　消防職員６名を採用、５５名となる。
１０月１０日　救急車車庫、鉄骨造平屋建 27.945 ㎡、及び待機室鉄筋コンクリート造平屋建 76.656 ㎡を増築する。
２７日　消防署に救急車３Ｂ型（ニッサン・シビリアン）を配備する。
昭和４８年　４月　１日　消防職員１４名を採用、６６名となる。
昭和４９年　４月　１日　上尾市大字中分７８番地に西分署を開署する。水槽付消防ポンプ自動車１台、救急車１台、職員２１名をもって業務を開始する。
１日　消防職員１６名を採用、８２名となる。
６月２７日　消防本部警防課、西分署に連絡車（ニッサン・バイオレット）２台を配備する。
１１月１５日　西分署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサン）更新する。
２５日　西分署に救急車３Ｂ型（ニッサン・シビリアン）を配備する。
昭和５０年　４月　１日　消防職員１９名を採用、１０１名となる。
２６日　消防本部に指令車（ニッサン・スカイライン）を配備する。
１１月１９日　西分署に消防ポンプ自動車（ニッサン）を配備する。
１２月２４日　消防署に化学消防ポンプ自動車（ニッサン）を配備する。
昭和５１年１０月１５日　消防本部に予防車（ニッサン・スカイライン）を配備する。
１１月　１日　消防長天野正三氏退職、後任消防長に上尾市長友光恒（第３代）が就任する。
昭和５２年　４月　１日　消防職員５名を採用、１０４名となる。
１２月２０日　消防署消防ポンプ自動車（ニッサン）更新する。
昭和５３年　２月２３日　消防署に救助工作車（ニッサン）を配備する。
４月　１日　消防職員１０名を採用、１１２名となる。
昭和５４年　３月１５日　消防署に救急車２Ｂ型（トヨタ・ハイエース）を配備する。
２２日　東分署に水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・フォワード）を配備する。
４月　１日　上尾市大字瓦葺１１３９番地に東分署を開署する。水槽付消防ポンプ自動車１台、救急車１台、職員２１名をもって業務を開始する。
１日　消防職員１２名を採用、１２３名となる。
７月１４日　東分署に連絡車（ニッサン・ブルーバードバン）を配備する。
１８日　信和デジタル機器㈱より救急車２Ｂ型（トヨタ・ハイエース）の寄贈を受け、東分署に配備する。
昭和５５年　１月　１日　上尾市長友光恒氏消防長兼務を解き、後任消防長に野原竹次郎（第４代）が就任する。
４月　１日　消防職員９名を採用、１３０名となる。

昭和５５年１１月２９日　東分署に消防ポンプ自動車（いすゞ・エルフＣＤ―Ｉ型）を配備する。
１２月　３日　消防署に緊急物資輸送車（ニッサン・バイソン１．５ｔ）を配備する。
昭和５６年　４月　１日　消防職員５名を採用、１３３名となる。
１１月　１日　消防長野原竹次郎氏退職、後任消防長に河村吉之助（第５代）が就任する。
１１月２５日　西分署に救急車２Ｂ型（トヨタ・ハイエース）を配備する。
昭和５７年　７月　１日　警防車（トヨタ・カローラバン）更新する。
昭和５８年　４月　１日　消防職員１７名を採用、１５０名となる。
昭和５８年１０月１４日　指令車（ニッサン・グロリア）更新する。
１１月　１日　消防本部・消防署庁舎を上尾市大字上尾村５３７番地に新築移転する。鉄筋コンクリート造２階建、敷地面積 7768.8 ㎡、延面積 2689.06 ㎡、付属施設訓練塔Ａ塔１０階建 29.5m、Ｂ塔３階建 10.2mをもって業務を開始する。
１日　消防職員１名を採用、１５１名となる。
１２月１０日　消防署はしご付消防自動車(ニッサンディーゼル・４６m級)更新する。
昭和５９年　４月　１日　消防職員１１名を採用、１５８名となる。
２３日　上尾ライオンズクラブより業務用バイク（ホンダ・ジョイ）の寄贈を受ける。
７月　４日　西分署連絡車（トヨタ・ランドクルーザー）更新する。
昭和６０年　３月　６日　消防庁長官より竿頭綬（消防本部・署・消防団）を授与される。
４月　１日　消防職員５名を採用、１６３名となる。
９月３０日　日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（三菱）の寄贈を受け、西分署に配備する。
１０月１２日　予防車（ニッサン・ホーミーロングバン）更新する。
１２日　上尾中央ライオンズクラブより予防査察指導車(ダイハツ・ハイゼット)の寄贈を受ける。
１１月２２日　上尾ライオンズクラブ及び上尾中央ライオンズクラブより、火災予防横断幕２枚の寄贈を受ける。
昭和６１年　９月　１日　上尾西ロータリークラブより業務用バイク（ホンダＡＦ１３）の寄贈を受ける。
昭和６２年　４月　１日　消防職員８名を採用、１６８名となる。
２８日　消防署救急車２Ｂ型（ニッサン・キャラバン）更新する。
昭和６３年　３月１７日　南分署に水槽付消防ポンプ自動車（ニッサン・コンドル）を配備する。
２６日　上尾ライオンズクラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。
４月　１日　消防職員１１名を採用、１７７名となる。
４月１５日　南分署を開署する。はしご付消防自動車１台を配備し、水槽付消防ポンプ自動車１台、職員１５名をもって業務を開始する。
６月１６日　上尾武蔵ライオンズクラブより広報車（トヨタ・カローラバン）の寄贈を受ける。

７月２６日　日本消防協会より救急車２Ｂ型(ニッサン・キャラバン)の寄贈を受け、南分署に配備する。
８月２４日　南分署に連絡車（ダイハツ・ハイゼット）を配備する。
１０月２３日　上尾中央ライオンズクラブより屋内消火栓操法大会用優勝旗の寄贈を受ける。
１１月２７日　緊急物資輸送車（ニッサン・コンドル）更新する。
平成　元年　３月２９日　東分署用救急車２Ｂ型（ニッサン・キャラバン）更新する。
４月　１日　消防長河村吉之助氏退職、後任消防長に豊村賢一(第６代)が就任する。
１日　消防職員１１名を採用、１８８名となる。
６月　９日　上尾北ロータリークラブより可搬式ウインチ１台の寄贈を受ける。
７月１１日　東分署連絡車（ニッサン・ブルーバードバン）更新する。
７日　(株) 旭計器より連絡車（ホンダ・アスコット）の寄贈を受ける。
１２月２０日　上尾西ロータリークラブより可搬式ウインチ１台の寄贈を受ける。
２６日　南分署に消防ポンプ自動車（いすゞ・エルフＣＤ―Ⅰ型）を配備する。
平成　２年　４月　１日　消防職員７名を採用、１９５名となる。
２０日　上尾北ロータリークラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
１０月１７日　上尾・伊奈危険物防火安全協会より屋内消火栓操法大会用準優勝杯の寄贈を受ける。
２４日　上尾西ロータリークラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。
２９日　西分署消防ポンプ自動車（いすゞ・エルフＣＤ―Ⅰ型）更新する。
１２月２０日　消防署化学消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル化Ⅱ型）更新する。
平成　３年　３月１８日　日本損害保険協会より救急車２Ｂ型（ニッサン・キャラバン）の寄贈を受け、西分署に配備する。
４月　１日　消防職員５名を採用、１９７名となる。
９月３０日　警防車（いすゞ・ファーゴ）更新する。
１０月１７日　指令車（ニッサン・セドリック）更新する。
２８日　南分署はしご付消防自動車(ニッサンディーゼル・３０m級)更新する。
平成　４年　４月　１日　消防職員３名を採用、１９８名となる。
１日　消防長豊村賢一氏市福祉部長に転出し、後任消防長に粕谷正之助（第７代）が就任する。
５月１８日　上尾・伊奈危険物防火安全協会より火災予防横断幕の寄贈を受ける。
６月１２日　上尾北ロータリークラブより、火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
１１月１９日　消防署消防ポンプ自動車（いすゞ・エルフＣＤ―Ⅰ型）更新する。
２５日　上尾西ロータリークラブより火災予防懸垂幕、横断幕の寄贈を受ける。
１２月１５日　上尾ライオンズクラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
平成　５年　１月２９日　救助工作車（ニッサンディーゼル）更新する。
３月　５日　上尾ライオンズクラブより予防車（ニッサン・ホーミーロングバン）の寄贈を受ける。
４月　１日　消防職員６名を採用、２０４名となる。

平成　５年１１月　９日　　上尾ライオンズクラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
１２月２８日　　上尾西ロータリークラブより火災予防懸垂幕、横断幕の寄贈を受ける。
平成　６年　２月　１日　　東分署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル）更新する。
２１日　　北分署に水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル）を配備する。
２５日　　北分署に連絡車（ニッサン・アベニール）を配備する。
４月　１日　　消防職員１４名を採用、２１８名となる。
１日　　北分署を開署する。水槽付消防ポンプ自動車１台、連絡車１台、職員１５名をもって業務を開始する。
７月２８日　　西分署連絡車（トヨタ・カローラバン）更新する。
９月２８日　　上尾中央ライオンズクラブより査察指導車（トヨタ・カルディナバン）の寄贈を受ける。
１０月２８日　　上尾ライオンズクラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。
平成　７年　２月２７日　　消防署救急車を高規格救急車(ニッサン･パラメディック)に更新する。
８日　　上尾西ロータリークラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
４月　１日　　消防職員９名を採用、２２６名となる。
１日　　消防長粕谷正之助氏退職、後任消防長に倉谷孝一郎（第８代）が就任する。
１０日　　東分署消防ポンプ自動車（ＭＸ－Ｉ、ＣＤ―Ｉ型）更新する。
２９日　　西分署救急車を高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）に更新する。
１２月１３日　　北分署に消防ポンプ自動車（ＭＸ－Ｉ、ＣＤ―Ｉ型）を配備する。
１８日　　消防署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサン・コンドル）更新する。
平成　８年　３月１４日　　南分署連絡車（ニッサン・アベニール）更新する。
１８日　　上尾西ロータリークラブより防火掲示板の寄贈を受ける。
平成　８年　４月　１日　　消防職員６名を採用、２３０名となる。
２９日　　消防署広報車（ニッサン・ＡＤバン）更新する。
１０月　９日　　上尾ライオンズクラブより防火掲示板の寄贈を受ける。
１１月１５日　　南分署消防ポンプ自動車（ニッサン・コンドルＣＤ―Ｉ型）更新する。
１２月１６日　　南分署救急車を高規格救急車（トヨタ・ハイメディック４ＷＤ）に更新する。
平成　９年１０月２２日　　消防署積載車（ニッサンディーゼル）更新する。
１１月２０日　　上尾北ロータリークラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
平成１０年　４月　１日　　消防長倉谷孝一郎氏退職、後任消防長に日吉孝（第９代）が就任する。
１日　　消防職員３名を採用、２２９名となる。
８月２１日　　消防本部連絡車（トヨタ・プリウス）更新する。
平成１１年　３月　４日　　東分署救急車を高規格救急車（ニッサン・エルグランド）に更新する。
１９日　　三井金属鉱業株式会社より水難救助用沈錘の寄贈を受ける。
４月１０日　　上尾北ロータリークラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。
７月　６日　　上尾西ロータリークラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。
１１月２０日　　上尾中央ライオンズクラブより火災予防横断幕の寄贈を受ける。

平成１２年　１月２６日　上尾中央ライオンズクラブより火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
２月１４日　西分署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル）更新する。
１１月２０日　消防署はしご付消防自動車(ニッサンディーゼル･３８ｍ級)更新する。
２４日　北分署救急車を高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）に更新する。
平成１３年　４月　１日　消防長日吉孝氏退職、後任消防長に小川和雄（第１０代）が就任する。
１日　消防職員５名を採用、２２７名となる。
６月　１日　上尾市消防音楽隊（隊員３２名）が発足する。
９月２６日　警防車（ニッサン・キャラバン）更新する。
１２月　７日　日栄プラスチック株式会社よりヘルメットの寄贈を受ける。
平成１４年　４月　１日　消防長小川和雄氏退職、後任消防長に大川原富夫（第１１代）が就任する。
１日　消防職員５名を採用、２３０名となる。
５月３１日　蓮田市在住内田好明氏より腕用ポンプの寄贈を受ける。
９月　６日　上尾西ロータリークラブより蘇生訓練用マネキン（乳児・大人）の寄贈を受ける。
平成１５年　２月１１日　上尾ライオンズクラブより火災予防横断幕・懸垂幕、出初式用防風幕の寄贈を受ける。
２８日　南分署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルⅠ―A型、災害対応特殊水槽付）更新する。
４月　１日　消防職員５名を採用、２３２名となる。
９月１９日　予防車（ニッサン・キャラバン）更新する。
平成１６年　４月　１日　消防長大川原富夫氏退職、後任消防長に大木三郎（第１２代）が就任する。
１日　消防職員１０名を採用、２３７名となる。
７月１３日　新潟・福島豪雨発生、緊急援助隊として消火小隊１隊、救急小隊１隊、積載車（ボート搬送）を新潟県見附市、三条市に派遣する。
２３日　新潟県中越地震発生、緊急援助隊として救急小隊１隊を新潟県小千谷市に派遣する。
平成１７年　１月２６日　消防署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
１０日　平方分署に水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルⅠ－A型）を配備する。
１８日　平方分署に連絡車（トヨタ・ハイラックスサーフ）を配備する。
３０日　消防署に指揮車（ニッサン・キャラバン）を配備する。
４月　１日　消防長大木三郎氏退職､後任消防長に濵野秀彦(第１３代)が就任する。
１日　消防職員１２名を採用、２４６名となる。
１日　平方分署を開署する。水槽付消防ポンプ自動車１台、連絡車１台、職員１５名をもって業務を開始する。
９月　１日　消防署分署名称を変更する。西分署を大石分署、東分署を原市分署、南分署を大谷分署、北分署を上平分署とする。

平成１８年　２月１３日　大石分署消防ポンプ自動車(ニッサンディーゼルＣＤ－Ｉ型)更新する。
１４日　消防署非常用消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルＣＤ－Ｉ型）更新する。
４月　１日　消防長濵野秀彦氏退職、後任消防長に小峯義雄(第１４代)が就任する。
１日　消防職員１０名を採用、２５２名となる。
７月　３日　査察指導車（トヨタ・サクシードワゴン）更新（リース）する。
１８日　前指令車を総務車（ニッサン・ティアナ）として更新（リース）する。
９月　１日　消防署物資輸送車（トヨタ・トヨエース）、指令車、大石分署、大谷分署、上平分署連絡車（トヨタ・サクシードワゴン）更新（リース）する。
平成１９年　２月１５日　大石分署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
４月　１日　消防職員８名を採用、２５８名となる。
６月　１日　消防本部連絡車（トヨタ・エスティマ）更新（リース）する。
１１月２６日　西消防署に救助工作車（ニッサンディーゼル）を配備する。
平成２０年　１月　１日　大石分署を廃止し、西消防署を開署する。水槽付消防ポンプ自動車１台、ポンプ車１台、救助工作車１台、高規格救急車１台、連絡車１台、職員３７名をもって業務を開始する。
１日　消防署名を旧消防署から東消防署に改め、２署４分署体制となる。
２月　７日　大谷分署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
２８日　東消防署消防ポンプ自動車(ニッサンディーゼルＣＤ－Ｉ型)更新する。
４月　１日　消防長小峯義雄氏退職、後任消防長に関根千春(第１５代)が就任する。
１日　消防職員１０名を採用、２６０名となる。
平成２１年　１月　８日　原市分署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
９日　東消防署救助工作車（ニッサンディーゼル）更新する。
３月　２日　原市分署連絡車（トヨタ・サクシードワゴン）更新（リース）する。
４月　１日　消防長関根千春氏退職、後任消防長に栗原実（第１６代）が就任する。
１日　消防職員６名を採用、２５９名となる。
１１月　２日　東消防署非常用高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
１２月１４日　原市分署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルＩ－A型）更新する。
平成２２年　１月１５日　上平分署水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼルＩ―B型・災害対応特殊水槽付）更新する。
４月　１日　消防職員７名を採用、２６０名となる。
２２日　上平分署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
７月２６日　東消防署化学消防ポンプ自動車（日野Ⅱ型）更新する。
９月　１日　原市分署消防ポンプ自動車・上平分署消防ポンプ自動車（日野ＣＤ―Ｉ型）更新する。
２４日　東消防署水槽付消防ポンプ自動車（ＵＤトラックスＩ－B型・災害対応特殊水槽付）更新する。

平成２３年	３月１０日	大谷分署はしご付き消防自動車を屈折はしご付消防自動車（日野２５m）に更新し、西消防署に配備する。
	１１日	東北地方太平洋沖地震発生、緊急消防援助隊として消火小隊１隊を岩手県陸前高田市に派遣する。３月２６日より救急小隊１隊を福島県福島市・本宮市に派遣する。
平成２３年	４月　１日	消防長栗原実氏退職、後任消防長に成井正美（第１７代）が就任する。
	１日	消防職員４名を採用、２５８名となる。
平成２４年	４月　１日	消防職員９名を採用、２６０名となる。
	６月１１日	西消防署大谷分署消防ポンプ自動車（日野ＣＤ－Ⅰ型）更新する。
平成２５年	３月１８日	総務省消防庁より、３ｔ級重機（コマツ）及び重機搬送車（日野）を貸与される。（緊急消防援助隊・震災対応特殊車両）
	４月　１日	消防長成井正美氏退職、後任消防長に中村進（第１８代）が就任する。
	１日	消防職員３名を採用、２６０名となる。
	１日	上尾市・伊奈町消防指令センターの共同運用を開始する。
平成２６年	４月　１日	消防長中村進氏退職、後任消防長に加藤一美（第１９代）が就任する。
	１日	消防職員１２名を採用、２６０名となる。
	７月　１日	警防車（トヨタ・ハイエース）更新（リース）する。
	８月　１日	消防本部連絡車（トヨタ・ノアハイブリッド）更新（リース）する。
平成２７年	１月　８日	平方分署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
	６日	西消防署水槽付消防ポンプ自動車（日野Ⅰ－Ａ型）更新する。
	４月　１日	消防職員７名を採用、２６０名となる。
	７月１５日	上尾・伊奈防火安全協会より火災予防横断幕の寄贈を受ける。
	１２月２８日	平方消防友の会より火災予防懸垂幕の寄贈を受ける。
平成２８年	１月２６日	西消防署及び非常用高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
	４月　１日	消防長加藤一美氏退職、後任消防長に田島孝一（第２０代）が就任する。
	１日	消防職員１１名を採用、２６０名となる。
	１２月２０日	大谷分署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
	２１日	西消防署に資機材搬送車（日野デュトロ）を配備する。
平成２９年	４月　１日	消防職員１３名を採用、２６０名となる。
平成３０年	２月　２日	原市分署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
	２７日	大谷分署水槽付消防ポンプ自動車（日野・レンジャー）更新する。
	４月　１日	消防職員７名を採用、２６０名となる。
	８月　１日	上尾市平方消防友の会より消防バックパネルの寄贈を受ける。
	１０月　５日	埼玉中央生コン協同組合、串橋建材株式会社と大規模災害発生時の消火用水搬送協力に関する協定を締結する。
	５日	埼玉県解体業協会と災害時における消防活動の協力に関する協定を締結する。
平成３１年	２月２１日	東消防署高規格救急車（ニッサン・パラメディック）更新する。
	３月２６日	東消防署指揮車（トヨタ・ハイエース）更新する。

平成３１年　４月　１日　　消防職員６名を採用、２６０名となる。
令和　元年　７月１１日　　株式会社セブン-イレブン・ジャパンとコンビニエンスストアへの自動体外式除細動器設置に係る基本協定を締結し、市内３１カ所に設置する。
令和　２年　１月　９日　　上平分署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
４月　１日　　消防職員１１名を採用、２６７名となる。
１日　　大谷分署に新規高規格救急車を配備し２台体制となる。
９月１６日　　東消防署はしご付き消防自動車（３０m級）（日野・プロフィア）更新する。
令和　３年　１月２７日　　平方分署水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ・フォワードＩ―A（ホース延長用資機材有））更新する。
４月　１日　　消防長田島孝一氏退職、後任消防長に矢部広巳（第２１代）が就任する。
１日　　消防職員９名を採用、２６７名となる。
１０月　８日　　上尾・伊奈防火安全協会より殺菌線ロッカーとCO_2モニターの寄贈を受ける。
１１月３０日　　消防本部調査車（トヨタ・ハイエース）更新する。
令和　４年　２月　１日　　西消防署消防ポンプ自動車（いすゞ・ＣＤ－Ｉ型）更新する。
４月　１日　　消防長矢部広巳氏退職、後任消防長に関口一夫（第２２代）が就任する。
１日　　消防職員８名を採用、２６７名となる。
令和　５年　３月２３日　　非常用ポンプ自動車（日野・ＣＤ－Ｉ型）更新する。
３月３１日　　上尾市・伊奈町消防指令センターの共同運用を終了する。
４月　１日　　上尾市・伊奈町消防広域化運用開始。
１日　　消防長関口一夫氏退職、後任消防長に中山一之（第２３代）が就任する。
１日　　消防職員１６名を採用、３２８名となる。
４月２０日　　東消防署消防ポンプ自動車（いすゞ・ＣＤ－Ｉ型）更新する。
７月１４日　　西消防署資機材搬送車（いすゞ・エルフ）更新する。
１１月１４日　　東消防署、西消防署指令車（ニッサン・キャラバン）更新する。
令和　６年　１月１２日　　西消防署指揮車（トヨタ・ハイエース）更新する。
２月２２日　　伊奈分署、平方分署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
３月２１日　　東消防署救助工作車（日野・レンジャー）更新する。
４月　１日　　消防職員１０名を採用、３２８名となる。
１２月１６日　　西消防署救助工作車（日野・レンジャー）更新する。
１２月２５日　　上平分署・大谷分署連絡車（ニッサン・クリッパーバン）更新する。
令和　７年　２月　５日　　西消防署高規格救急車（トヨタ・ハイメディック）更新する。
４月　１日　　消防職員１８名を採用、３２８名となる。
８月２９日　　上平分署水槽付き消防ポンプ自動車（いすゞ・フォワード水１－B型）更新する。
１１月１９日　　原市分署水槽付き消防ポンプ自動車）いすゞ・フォワード水１－A型）更新する。
令和　８年　１月　７日　　原市分署連絡車（トヨタ・ピクシスバン）更新する。

令和　８年　２月２５日　　東消防署高規格非常用救急車（ニッサン・パラメディック）更新する。
　　２５日　　大谷分署高規格救急車（ニッサン・パラメディック）更新する。
令和　８年　４月　１日　　消防長中山一之氏退任、後任消防長に鈴木康夫（第２４代）が就任する。
　　１日　　消防職員１２名を採用、３２８名となる。